

四 国

四国の景況は、公共工事が弱含んだものの、設備投資、生産活動が持ち直すなど、回復。

個人消費は、飲食料品を中心に大型小売店販売が底堅く推移し、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、独立行政法人等、県、市町村が減少するなど、弱含み。輸出は、セメントが減少したものの、船舶が増加するなど、足許増加。

生産活動は、窯業・土石製品、電気機械が減少したものの、非鉄金属、一般機械が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。観光は、台風により観光地や温泉地への入込客が伸び悩むなど、盛り上がりを欠く。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								